



































チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念について入社時に説明し、HPにも掲載している。 ・経営目標については月次面談で明確化し、結果についても月次面談でフィードバックを行い従業員が自らの使命を理解し、やりがいを感じる体制作りを行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・採用試験合格者については、入社までに法令遵守の誓約書の提出を義務付け、規定とマニュアルについては、定期的に研修にて周知している。 ・就業規則に法令遵守について記載し周知している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・独占禁止法に抵触しないよう、会社独自の価格表を作成し、クライアントによって差が出ないよう公正な取引に取り組んでいる。 ・手続き報酬については、HPIに記載し明確にしている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・弊社の企業活動は、SDGsに関する事項が多いこと、従業員として求められる社会的立場を正しく理解するように倫理研修を行っている。 ・管理職を担当として任命している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・弁理士の先生との交流を行い、従業員に対しては、定期的に勉強会を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・業務中は従業員個人の携帯電話の使用を禁止し、FAXや郵便を送る際は複数人で確認するなど情報の外部流出への対策を徹底している。 ・個人情報保護規程を作成し、入社時に守秘義務に関する誓約書の提出を義務付け、パソコンについてはUSBを認識しないようにしている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧問先を訪問した際には、労働・人権問題については話し合うことはもちろんのこと、環境問題をはじめとする社会問題等について対話することとしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・顧問先に対し就業規則の作成を推進するとともに、就業規則の周知を行う際には、ハラスメント研修、同一労働同一賃金に関する研修などを行い、事業主のみならずそこで働く従業員に対しても倫理観を向上させるよう取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを作成し、全ての従業員がシェアできるよう社内イントラネットにて配布している。 ・災害発生が予想される場所に実際に赴き、定期的な訓練をしている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業を法人化し、後継候補者を登録している。 ・後継候補者は、当然、社会保険労務士の有資格者である。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・そもそも、差別は労働基準法で禁止されていることであり、セクシャルハラスメントについては男女雇用機会均等法で禁止されている。定期的に行われる労働法の勉強会の際に、様々なハラスメントに関する裁判例について学び、ハラスメントの無い模範組織となるよう経営者自ら指導している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・従業員に、労働安全衛生法に定める第1種衛生管理者免許取得を義務付け、受験費用を会社が負担し、受験させている。なお、受験に必要な教材は会社負担で購入している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・最新の様々な関係判例について、定期的に学習を行っている。 ・就業規則にて差別を禁止し、賃金規程に手当等の支給基準を定めている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・声かけ運動などを行い、有給休暇などの取得奨励を実施している。 ・年次有給休暇取得強化月間を設けている。 ・業務効率化を目的とし、業務で使用する専用ソフトを業者に依頼し作成して、導入している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・定期的に社会保険労務士業務についての勉強会を実施している。 ・社労士資格試験をはじめとする労働法に関する多様な資格取得に対する費用負担を行っている。 ・全ての社員に対し、社会保険労務士受験を義務化している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・予防接種や、健康診断の費用及びその際の給与について会社の負担において行っている。 ・産業医による面談を月に1回行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・法令遵守を徹底し、差別的待遇は行わずに、定期的に個人面談を行い、性別や年齢によるそれぞれの強みを生かして活躍できる環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・打ち合わせ中はオゾン発生器の使用や換気をし、都度消毒を行っている。 ・クラウドサーバーで管理を行い、時間、場所を選ばず業務が出来るようにしている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・クラウドサーバーで管理を行い、時間、場所を選ばず業務が出来るようにしている。また、電子申請システムの活用で、ペーパーレス化を行い、全てのデータはクラウド管理されている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物を減らすため、電子FAX(ダイレクトFAX)を用いている。また、各種申請を専用ソフトを使用し、e-govで行うことにより、ペーパーレス化を行っている。 ・エコアクション21を取得している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・自社で使用する電力については太陽光発電でまかない、社用車についてはプラグインハイブリッド車を使用している。 ・自社エネルギー年間使用量6,260Kwに対し、52%の3,284Kwを自社の太陽光で賄っている。 ・熊本県が定めた簡易計算シートを使用し管理している。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・自社で発電した電力でプラグインハイブリット車を使用し、CO2削減に取り組んでいる。 ・熊本県が定めた簡易計算シートを使用し管理している。 ・エコアクション21を取得している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事務所内で排出される生ごみに関しては生ごみ処理機を使用し、たい肥となった物は、事務所内の植栽の肥料に使用している。 ・外出時は、プラグインハイブリット車である社用車の使用の徹底を行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・生ごみについては生ごみ処理機を使用し、たい肥としている。 ・ペーパーレス化を徹底している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所内で私用する飲用水については、業者と契約しウォーターサーバーを使用し、銘柄は「阿蘇のおいしい水」を使用している。 ・事務所内水道には節水器具を取り付けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品は、グリーン購入法適合商品のみ購入している。 ・社用車は、プラグインハイブリッド車を購入している。 ・エコアクション21を取得している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社の敷地内については、様々な植物を植えることで、緑の創出をしている。 (敷地面積の1/4は、植栽されている)											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・会社で使用する電力については全て太陽光で賄うことを目標とし、事務所内での電球をLED化している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・プラグインハイブリッド車を社用車として使用している。また、その電力は自社の太陽光で賄っている。 ・社長自ら徒歩で通勤している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト


















事業者名: 社会保険労務士法人 一光事務所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスとして、正確な提案書の作成、各種申請書の作成を行い、依頼された業務の完全な履行が出来なかった場合は、速やかに賠償が出来るように、賠償保険に加入している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・顧問先に限らず、高齢者、障害者、女性など、個人でも年金や健康保険、労働問題について相談が出来るようにHPIに、わかりやすい価格表を掲載している。 ・事務所内はすべてバリアフリーである。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・昼食で購入するお弁当は、熊本県産の食材を使用しているものを中心に購入するよう徹底している。また、食べ残しが無いよう、適切なサイズのお弁当を選ぶようにしている。 ・社長室の壁・柱は熊本県産の木材を使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・社長室の壁・柱は熊本県産の木材を使用している。 ・会社は木造建築である。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・同一労働同一賃金、ハラスメント対策について積極的にセミナーをおこなっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・毎日、朝夕決められたルートのごみ清掃を行うとともに、子供や、お年寄りに対し声かけ運動を行っている。 ・あしなが育英会・ユニセフに定期的に募金している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・会社内において防災グッズを全ての部屋に常備している。 ・定期的に事務所内の見回りを行い、高所に荷物等が無い、避難経路が確保されているかの確認を行っている。 ・ハザードマップを確認している。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの普及啓発として、LGBT等の問題に対しクライアントに対し説明するなど、人権問題に対し考える場を設け、また、プラグインハイブリッド車で訪問するなど、教育機会の提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。